

組織・拠点・プラットフォーム

12 マルチマテリアル研究部門の紹介

マルチマテリアル研究部門 千野 靖正

マルチマテリアル研究部門

13 中部センターの紹介

中部センター 山田 保誠

中部センター

14 金沢工大・産総研 先端複合材料ブリッジ・イノベーション・ラボラトリの紹介

マルチマテリアル研究部門 三木 恒久

金沢工大・産総研 先端複合材料ブリッジ・イノベーション・ラボラトリ

15 分光分析×機械学習によるリサイクルPP中のPP/PE/PS組成比の迅速定量

機能化学研究部門 材料インテグリティ研究グループ 藤本 真司

中国センター

16 ナイロン66の解重合を基盤としたアップサイクル技術

化学プロセス研究部門 有機資源変換研究グループ 谷口 賢吉

東北センター

17 柏センターの紹介～ AI インフラ・XR・人間社会拡張と共創プラットフォーム形成

柏センター 森 郁恵

柏センター

18 テクノレッジ講座 ～最先端技術を学び、現場で活かす～

株式会社 AIST Solutions プロデュース事業本部 第二事業部 テクノレッジ事業グループ 浅沼 俊英

株式会社 AIST Solutions

19 オープンイノベーション特化型 AI エージェント「Bibbidi(ビビディ)」

株式会社 AIST Solutions プロデュース事業本部 第二事業部 デジタルプラットフォーム事業構想グループ 小林 弥栄

株式会社 AIST Solutions

20 実験データ・プロセスを価値のあるデータに変える

MI・PI を加速させる次世代材料研究 DX システム

株式会社 AIST Solutions プロデュース事業本部 第二事業部 マテリアル DX 事業構想グループ 中野 学

株式会社 AIST Solutions

ポスターセッション

17:10 閉会

17:10
18:10 懇談会

アクセス

できるだけ公共交通機関をご利用ください

ミッドランドホール ミッドランドスクエアオフィスタワー 5F

〒450-6205 名古屋市中村区名駅四丁目7番1号

Access



名古屋駅（徒歩 5 分）地下鉄名古屋駅（徒歩 1 分）

名鉄名古屋駅・近鉄名古屋駅（徒歩 3 分）



お問い合わせ

ご不明な点は下記の連絡先へお問い合わせください

国立研究開発法人産業技術総合研究所

中部センター産学官連携推進室 イベント開催事務局

✉ M-event-chubu-ml@aist.co.jp

イベント詳細はこちら



10/9 2026 [金]

13:30~17:10 懇談会 17:10~18:10

ミッドランドホール 参加費無料

名古屋市中村区名駅四丁目7番1号ミッドランドスクエアオフィスタワー5F

参加登録はこちら

登録
締切

10/2 [金]

※定員に達し次第締め切りとさせていただきます



1	13:30~	開会あいさつ	産業技術総合研究所 中部センター所長 堀田 裕司
2	13:30~13:45 講演①	オープンイノベーションと産総研 ～研究開発から社会実装まで～	産業技術総合研究所 理事 宮崎 歴
3	13:45~13:55 講演②	産総研 材料・化学領域でのマテリアル DX への取り組み	産業技術総合研究所 中村 恒夫
4	13:55~14:25 特別講演①	材料探索を可視化・加速する：材料宝の 地図と材料データの相互利用	トヨタ自動車株式会社 平田 裕人
5	14:40~15:10 特別講演②	インフォマティクスを活用した MAG 溶接部 の品質保証技術	大阪大学 芹澤久、宮坂 史和 スズキ株式会社 岩下一晶、 岡本 努、福川 孝司、安座間 尚之
6	15:10~15:40 講演③	NEDO「次世代ファインセラミックス製造 プロセスの基盤構築・応用開発」成果紹介	産業技術総合研究所 松本 純一
7	15:40~16:00 講演④	材料開発・製造プロセスを加速するAI解析技術～接合 音響データと組織画像を活用した品質・特性予測～	産業技術総合研究所 古嶋 亮一
8	16:00~16:10 講演⑤	テクノレッジ講座 ～最先端技術を学び、現場で活かす～	株式会社 AIST Solutions 田中 章博
9	16:10~17:10	ポスターセッション	
10	17:10~18:10	懇談会	

マテリアル開発と部素材品質保証の高度化のための材料プロセスDX



産業技術総合研究所（産総研）は公的研究機関として「社会課題解決」と「産業競争力強化」をミッションに全国12拠点で幅広い研究を実施しており、グループの株式会社AIST Solutionsと協業により、研究成果の社会実装を通じて社会課題の解決と我が国の産業競争力強化を推進しています。中部地域は自動車・航空機などのモビリティ関連産業の集積地として、我が国の経済をけん引しています。このような地域特性を踏まえ、産総研中部センターと株式会社AIST Solutionsが共催する「未来モビリティ材料」共創フェアでは、モビリティ分野に関する国内外の社会及び研究開発動向を産業界に向けて発信をしています。モビリティに適用する部素材に関しては、高い疲労特性や耐久性などの信頼性に加え、資源循環性などが求められ、それらに関連して品質保証や部素材管理も必要です。そこで、第4回となる本年度の「未来モビリティ材料」共創フェアでは、大学、産総研におけるインフォマティックスを活用した部素材の高度化や、接合部材の品質保証技術開発、及び企業におけるデータ駆動型材料開発等を紹介し、参加者の皆様とともにモビリティ材料におけるDXについて議論を深めます。

プログラム

13:30 開会あいさつ 堀田 裕司 産業技術総合研究所 中部センター所長

13:30

講演①

オープンイノベーションと産総研 ～研究開発から社会実装まで～

宮崎 歴 産業技術総合研究所 理事

産業技術総合研究所（産総研）は、研究開発を通じて社会課題の解決と産業競争力の強化に取り組んでいます。本講演では、産総研の概要、イノベーション人材育成、株式会社AIST Solutions（AISol）による社会実装支援、企業との共創事例など、我が国のオープンイノベーションにおける産総研の役割と活用の可能性についてお話しします。

13:45

講演②

産総研 材料・化学領域でのマテリアル DX への取り組み

中村 恒夫 産業技術総合研究所 材料・化学領域マテリアル DX 研究センター長

我々はマテリアル DX を、計算・プロセス・計測によるオンデマンド材料データ創出・構造化から、蓄積データを共有或いは共用した高度 AI 技術による MI/PI までを包括した材料・プロセス設計システムとして位置付けています。本講演では、マテリアル DX 研究センターでの取り組みを中心に、その実現に向けた全体構想と開発要素技術を紹介します。

13:55

特別講演①

材料探索を可視化・加速する：材料宝の地図と材料データの相互利用

平田 裕人 トヨタ自動車株式会社 先進技術開発カンパニー 材料技術領域・主査

本講演では、材料探索の難しさを乗り越えるため、データサイエンスに基づく「材料宝の地図」と材料データ相互利用の取り組みを紹介します。産学・業種を超えた連携による材料探索の可視化・加速と、新たな価値創出の可能性についてお話しします。

14:25 休憩

14:40

特別講演②

インフォマティックスを活用した MAG 溶接部の品質保証技術

芹澤 久 国立大学法人 大阪大学 接合科学研究所、**宮坂 史和** 国立大学法人 大阪大学大学院 工学研究科

岩下一晶、岡本 努、福川 考司、安座間 尚之 スズキ株式会社

三次元非定常熱源モデルを用いた鉄鋼 MAG 溶接の溶込み形状予測法を自動車実車両施工に適用することを目指し、逐次二次計画法を用いた最適溶接条件同定法を構築することで、溶接条件決定に要する作業時間を大幅に短縮することに成功した結果をご紹介します。

15:10

講演③

NEDO「次世代ファインセラミックス製造プロセスの基盤構築・応用開発」成果紹介

松本 純一 産業技術総合研究所 材料・化学領域 マテリアルDX研究センター 材料プロセスシミュレーション研究チーム長

セラミックス製造プロセスの DX 基盤構築について、NEDO「次世代ファインセラミックス製造プロセスの基盤構築・応用開発」プロジェクトで開発が進められている、成形から焼結までの各工程を対象としたプロセスシミュレータおよびシミュレータ間の連携による工程横断型の統合シミュレーションについて紹介致します。

15:40

講演④

材料開発・製造プロセスを加速する AI 解析技術 ～接合音響データと組織画像を活用した品質・特性予測～

古嶋 亮一 産業技術総合研究所 材料・化学領域 マルチマテリアル研究部門 部材接合研究グループ長

モビリティ関連製品には多数の接合部があり、その品質を非破壊かつ高効率に保証する技術が求められています。本講演では、製造プロセス中に得られる超音波接合時の音響データを活用し、接合品質を判定する AI 技術について紹介します。また、データ駆動型ものづくりを実現するツールとして、材料開発で日常的に取得される組織画像から、強度や熱特性などの材料特性を予測する AI アプリケーションについて紹介します。

16:00

講演⑤

テクノナレッジ講座 ～最先端技術を学び、現場で活かす～

田中 章博 株式会社AIST Solutions プロデュース事業本部 第二事業部 テクノナレッジ事業グループ アソシエイト

テクノナレッジ講座とは、産総研の最先端の研究成果や技術を、基礎から応用まで実践的に学べる講座です。学びにとどまらず、受講後も産総研との共同研究などの連携により、現場の課題解決や研究・事業開発へつなげることができます。本講演では講座の概要や特長、活用イメージをご紹介します。

16:10

セラミックス・接合技術

01 機械・熱・電氣的ストレスを克服する高信頼性セラミックスの開発

マルチマテリアル研究部門 構造セラミック研究グループ 福島 学・周游・中島 佑樹・NGO MINH CHU・宮崎 広行・平尾 喜代司

高熱伝導セラミックス

02 高付加価値セラミックス製品に向けた鋳込み成形技術

マルチマテリアル研究部門 セラミック部材プロセス研究グループ 嶋村 彰紘

セラミックス・成形技術

03 ナノスケール分光を中心とした先端分析によるマテリアル開発・品質向上技術

マルチマテリアル研究部門 次世代電子材料研究グループ 板坂 浩樹

ナノスケール評価・ラマン分光

04 資源循環を志向した異種金属接合材の解体技術

マルチマテリアル研究部門 部材接合研究グループ 邊 明哲／Bian Mingzhe

異材接合・解体技術

環境調和材

05 不純物元素除去によるアルミニウムのアップグレードリサイクル

サーキュラーテクノロジー実装研究センター 軽金属リサイクル研究チーム 村上 雄一郎

アルミニウム・資源循環

06 木質素材の微細構造制御による機能付与と成形加工

マルチマテリアル研究部門 木質複合材料研究グループ 阿部 充

木質材料・化学修飾

07 生産性や生活の質の改善を目指すセンシング部材の開発

マルチマテリアル研究部門 センシング材料研究グループ 伊藤 敏雄

半導体センサー・DX

08 色が教える、水素の存在

マルチマテリアル研究部門 環境調和界面材料研究グループ 胡 致維

水素検知材料

エネルギー材料

09 永久磁石のサーキュラーエコノミーに向けた取り組み

マルチマテリアル研究部門 高機能金属材料プロセス研究グループ 平山 悠介

永久磁石・資源循環

10 湿式プロセスで拓く次世代金属系磁性材料開発

マルチマテリアル研究部門 高機能金属材料プロセス研究グループ 岡田 周祐

軟磁性材料・磁気冷凍材料

11 CO₂を用いた固体酸化物形電解セルによる化学品原料製造技術開発

CCUS 実装研究センター 化学品製造研究チーム 鷲見 裕史・百相 瑞貴

カーボンニュートラル・共電解

ポスターセッション